

田谷特別賞



今江町町内会

平成6年から継続している前川フラワーオアシスをきっかけに、花のまちづくりへの取り組みにける熱意と情熱を見ることができます。前川堤防の花壇づくりは個人・グループを問わず多くの町民が携わりながら、切磋琢磨することでレベルアップを図っており、その出来映えは素晴らしいです。さらに老若男女が関わることにより人材育成や町民の交流の場となっていることが評価されました。

花水樹賞



合場 加代子 氏

長年にわたり緑と花のまちづくり推進員などを務めるほか、各地でハンギングバスケットを始めとする花飾りの普及に尽力しておられます。また豊富な知識と経験により、植栽のアドバイスを行うなど、市内各所の花飾りや花壇づくりに携わり、現在も木場湯フローラの会の代表として、市民の憩いの場である木場湯公園の花壇管理のボランティア活動等を行っていることが評価されました。

奨励賞



下粟津町
明るい町づくり委員会



J A小松市
今江町女性部



社会福祉法人 御幸福社
御幸福保育園



嵐 幸子 様



小松市立
向本折小学校

努力賞



鶺鴒川町町内会



社会福祉法人 粟津温泉福祉会
粟津温泉保育園



小松市立
稚松小学校



能登 悟 様



國本 久美子 様

入選



幸町公民館



木場町町内会



西軽海町一丁目
町内会



ニツ梨町町内会



村田 のり子 様



北村 利則 様

審査員長講評



審査委員長 和田 博幸 氏 (公益財団法人 日本花の会 花と緑の研究所 主任研究員)

来年5月に小松市で第66回全国植樹祭の開催が決定し、全国から多くの方をお迎えしようとするこの時に、1回目のコンクールが開催されたことは時宜にかなっています。本コンクールは単なる花壇コンクールではなく、フローラルこまつの基本テーマ「花と緑が美しいまちを次世代に引き継ごう」を具体的に実践し、優秀な市民活動を顕彰するものです。第1回目にもかかわらず405件の応募があったと聞き、皆さんの花に関する関心の高さを知りました。現地審査では花のコンクールにもかかわらず、花壇づくりの主体性や子どもの参加、環境への配慮など、花壇の出来栄だけではない項目も審査しました。美しいまちの実現はひとつのきれいな花壇があるだけ実現しません。地区や地域全体を捉えてその花壇を景観づくりやコミュニティづくりにいかすことを考えましょう。今後もできるだけ広い視野でもって取組んでいただけるといいまちづくりにつながると思います。

つーらるこまつ

2014夏 花のコンクール大賞 表彰式



団体の部（一般）



金平町老人会

講評：花がきれいに咲き揃っているのは、日頃から花殻摘みや水やりなどきめ細かな管理に心がけておられるからでしょう。田園風景や公民館を背景に花壇の花が見事に調和している点が大変高く評価されました。

個人の部



齊藤 千鶴代 様

（寺町）

講評：花が店舗に沿って植えられ、花色ばかりでなく葉の色や形まで考えてデザインされています。決して広い場所ではありませんがセンスの良い花壇は人目に付き、多くの方に喜ばれており大変高く評価されました。



銀賞

沖町町内会

団体の部（一般）

講評：交差点の一角で草花には厳しい生育環境にもかかわらず、花がきれいに咲いています。殺風景だった街角が見違えるように明るくなりました。センス良くアレンジされた花壇が高く評価されました。

今江町町内会

銅賞



講評：各グループで切磋琢磨してレベルを高めあっている点が素晴らしいです。子供たちが地域の中で参加していることも、高く評価されました。川沿いののどかな風景が、花の彩りによって素敵な散策道になっています。



銀賞

小松市立安宅小学校

団体の部（児童・生徒）

講評：校舎の玄関を利用して花のコンテナがセンス良く配置されていて、登校する児童に花が挨拶しているようです。校舎前の緑のカーテンも良く育っています。花と校舎が見事に調和している点が高く評価されました。

小松市立符津小学校

銅賞



講評：真夏にもかかわらず花壇でたくさんの花が咲いていました。色鮮やかな花壇は小学校らしく元気いっぱいです。子どもたちが一所懸命にお世話をしてくれたお蔭です。大いに自慢できる花壇です。



銀賞

社会福祉法人 千代福祉会 千代保育所

団体の部（幼児）

講評：保育所の門から玄関までの両側が花で飾られ、これだけの量の花がお迎えしてくれるのは、千代保育所が一番です。隣の畑の花壇も可愛らしくまとまっていて、地域の方にも喜ばれていることも高く評価されました。

小松市立那谷保育所

銅賞



講評：保護会の手作りによる花壇は、周辺の樹木や庭の芝生の緑に囲まれた中で一際明るく輝いて見えます。子どもたちにもきっと喜ばれていると思います。親の思いがこもった見本ともいえる取組みが評価されました。



銀賞

吉田 章雄 様（おびし町）

個人の部

講評：エントランスからこぼれ落ちるように咲くペチュニアや宿根バーベナは、風に揺らぎ優雅さと潤いを感じさせてくれます。コンクリートが目立ち殺風景だった場所に彩りを添えた花の使い方は花飾りの見本ともいえます。

伊藤 瑤子 様（矢田野町）

銅賞



講評：手入れの行き届いた芝生の庭とプランターの花飾りがぱっと目を引き、住宅地の一角のオアシスのようです。どのプランターも、暑さの中、きれいに咲かせる工夫がされており、持ち主の日頃のていねいな手入れがうかがわれます。